

サービス利用者名

豊田市役所 産業部

サービス提供者名

一般財団法人リモート・センシング技術センター

プロジェクト概要(200文字程度)

豊田市では、統合型GISやタブレット等の活用により市役所業務の効率化を実現してきた。次の段階として、衛星データを市役所内横断で効果的に活用することで、更なる効率化を目指したい。本事業では、まず、産業部で行っている類似業務である、中山間地域等直接支払交付金と多面的機能支払交付金の事業実施における現地確認について、衛星データの統合利用の実証から始める。RESTECIは、全国を対象に同様の課題を持つ自治体に同様のサービスの展開を進める。

プロジェクト詳細(図表等を用いて説明)

現状・課題

課題

広大な面積を有する市内全域にて、様々な業務における調査作業には膨大な時間がかかる。



これまでの成果

統合型GISやタブレットによる市役所内業務の効率化

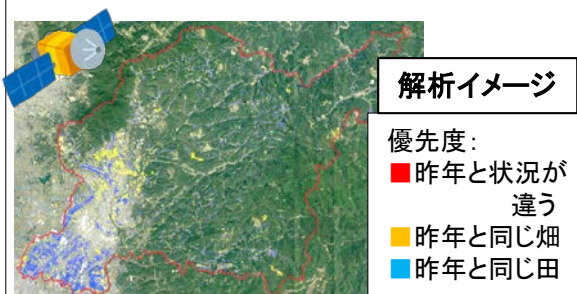


次の段階

広域において空中写真などよりもコストパフォーマンスに優れた衛星データの導入による業務効率化とコスト削減を検討。

実証

市庁舎内での衛星データ活用の先駆けとして、まず日本型直接支払の現地確認効率化の実証から中山間地域等直接支払で8,000筆、多面的機能支払で40,000筆が現地確認対象。



衛星データの解析により経年の違いを示すことで、現地確認作業の効率化を図る。

他の農政業務(経営所得安定対策、農地パトロール等)との利活用協議

農政業務担当と、衛星データを活用した現地確認作業の効率化について協議を行う。



市役所内ワークショップ(進捗報告会含む)

市役所内での部局を越えて横断的な活用の可能性を検討する。



効果

本実証により、衛星データ活用による効率化の効果が確認されることで、今後市役所内での利活用が広がる

- 日本型直接支払(中山間地域等直接支払、多面的機能支払)の現地確認効率化
- 上記以外の農政業務全体の現地確認作業の効率化にむけた協議
- 統合型GISと連携し、市役所全体の業務に横断的・統合的な衛星データの活用による業務効率化・コスト削減 ⇒ **日本初の事例**

